

指標5

いしかわ観光周遊確保率

現状と課題

個性豊かな観光資源

海の自然と祭りなど豊かな風土に恵まれた能登、加賀百万石の城下町としての特徴を色濃く残す金沢、豊かな自然の白山麓と加賀温泉郷などが立地する加賀という、豊かな観光資源を有する。



加賀温泉郷（加賀）



数多いスキー場（白山麓）

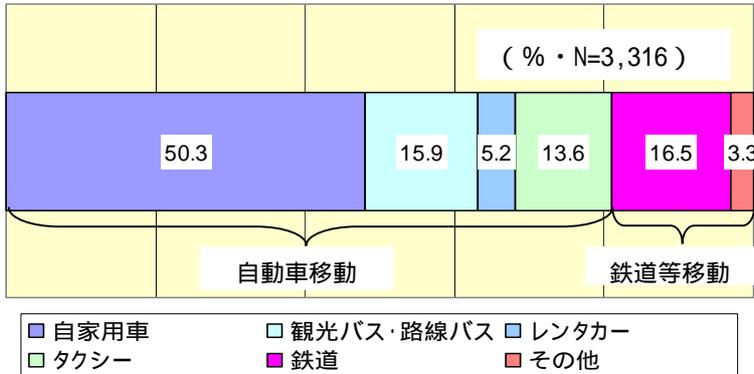


美しい海岸の風景（能登）

観光客のほとんどが自動車を利用

観光客の県内移動のほとんどが自動車を利用しており、観光拠点へのアクセス性の向上が重要である。

県内移動に利用した交通機関別構成比（複数回答）



美しい海岸線の道路整備の遅れ

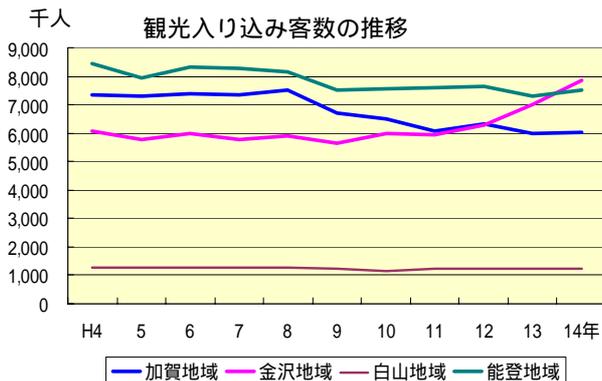
(主)大谷狼煙飯田線珠州市馬繰地内)

資料：「統計からみた石川の観光」

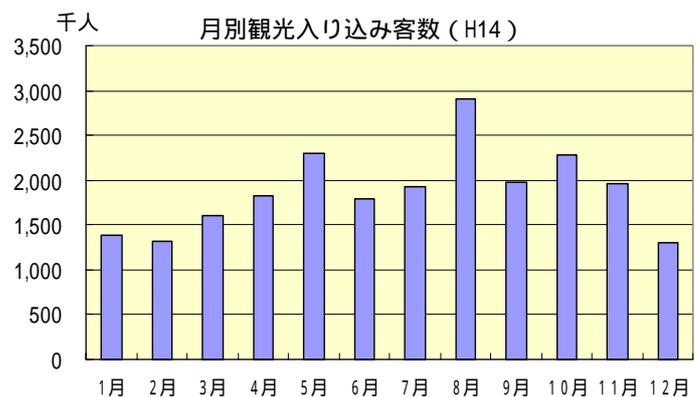
観光振興の必要性

石川県の産業活性化にとって、観光振興は今後ますます重要である。また、夏期に比べ、冬期の観光客が少なく、冬の魅力向上とともに安全性・快適性の確保が求められる。

観光入り込み客数の推移



月別観光入り込み客数（H14）



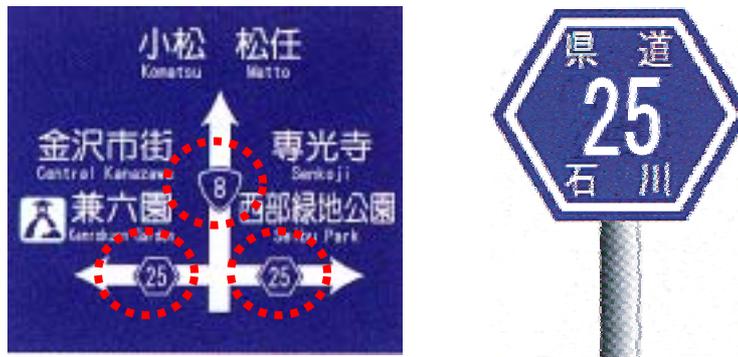
資料：「統計からみた石川の観光」

取組みの方向性

観光交流を促進するため、「能登回廊」「加賀・白山回廊」など、観光拠点間を連絡する道路や岬など眺望の良い道路での、四季を通じて快適に走行できる道路環境を確保します。

地域の情報を発信し、交流の拠点となる「道の駅」の整備を進めます。

路線番号を表示した案内標識の整備など、はじめて訪れる観光客が安心して目的地へ行けるよう分かりやすい道路を目指します。



路線番号を表示した案内標識

取組みの成果指標

いしかわの観光周遊の確保を示す指標として、観光周遊を担う道路の整備済み延長の割合を採用しました。

$$\text{観光周遊道路確保率} = \frac{\text{観光周遊確保に向けた整備が行われた延長}}{\text{観光周遊道路の総延長}}$$

*対象道路：観光周遊道路（国道、県道）約 235km。なお、ダブルラダー指定路線については、成果指標 2「高速ネットワーク確保率」においてすでに評価対象としているため、対象道路から除きます。

*観光周遊の確保に向けた整備が行われた道路とは、能登回廊を担う道路は車道幅員 5.5m以上が確保されている道路、降雪の多い加賀・白山回廊を担う道路は堆雪幅が確保された道路（車道部幅員 8.5m 以上）もしくは、消雪パイプやスノーシェットの雪対策がなされた車道幅員 5.5m以上の道路の延長

また、はじめて訪れる観光客にも分かりやすい標識の確保を示す指標として、路線番号を表示した案内標識の設置箇所の割合を採用しました。

$$\text{観光標識確保率} = \frac{\text{路線表示見直し整備が行われた箇所}}{\text{国道および県道が交差する県内の交差点数}}$$

*対象道路箇所：県内全ての国道及び県道を対象とし、国道及び県道が交差する交差点 583 箇所

いしかわ観光周遊の確保に向けた平成 15 年度の成果目標

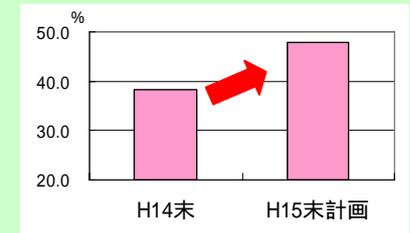
観光周遊道路確保率を H14 年末の 63.0% から、H15 年末には 63.6% へ、約 1% 増加させることを目指します。

項目	H14 末	H15 末計画	増
観光周遊道路確保率 (達成延長)	63.0% (147.6km)	63.6% (149.2km)	0.6% (1.6km)



観光標識確保率を H14 年末の 38.4% から、H15 年末には 47.9% へ、約 10% 増加させることを目指します。

項目	H14 末	H15 末計画	増
観光標識確保率 (設置箇所数)	38.4% (224 箇所)	47.9% (279 箇所)	9.5% (55 箇所)



H15 年度に供用を予定している主な箇所

路線名	箇所名	延長	整備内容
(主)志賀富来線	富来町福浦港	1.5km	バイパス

能登の海岸線や加賀の山地など、美しい自然を満喫できるとともに、地域情報の発信拠点となる道の駅やポケットパーク等の整備を進めます。

項目	H14 末	H15 末計画	増
道の駅整備数	9 箇所	12 箇所	3 箇所
ポケットパーク整備数	45 箇所	46 箇所	1 箇所

H15 年度に供用を予定している主な道の駅・ポケットパーク

名称	箇所名
道の駅能登空港	輪島市三井町洲衛
道の駅一向一揆の里	鳥越村出合
道の駅瀬女	尾口村瀬女
(仮)能登島簡易パーク	能登島町閨



道の駅 一向一揆の里



道の駅 能登空港

